

医療ツーリズム実施にあたって想定される課題について

1 人的面での課題

- (1) 国内の患者対応により人手（医師、看護師、事務職員など）が不足している。
- (2) 外国語を話すことができる医師、看護師が不足している。
- (3) 通訳の確保が困難である。

2 設備面での課題

- (1) 診療・治療設備の余裕がない。

3 受入れ体制面での課題

- (1) 多言語・異文化への対応（院内表示、各種文書や食事など）が困難である。
- (2) 受入れを判断するための患者情報を入手することが困難である。
- (3) 患者の来日前のサポート（ビザの手配や治療・手術日のスケジュール調整、宿泊先の確保など）が困難である。
- (4) 患者の在日中の通訳以外のサポート（交通の手配や緊急連絡先の確保など）が困難である。
- (5) 患者の帰国後のサポート体制（患者の帰国先の医療機関との連携など）が整備されていない。
- (6) 外国人患者に対する適切な価格設定が分からない。
- (7) 外国人患者から料金を確実に回収できるかが不安である。

(8) 外国人患者とのトラブルへの対応策（事前対応策や事後処理方策）が分からない。

(9) 外国人患者の確保・プロモーション機能が整備されていない。

(10) 外国人患者を対象とした民間保険制度が整備されていない。

〈参考：外国人患者の受入れ状況に関するアンケート〉

調査目的：外国人患者の受入れに関する県内医療機関の状況を把握し、本県における外国人患者への医療技術の提供による医療の国際化推進の基礎資料とする。

調査内容：外国人患者の受入れ実施の有無、受入人数、課題等

調査期間：平成28年5月13日（金）～5月27日（金）

調査対象：県内322病院